

## 今月号のトピックス

- ・ 9月の北辰結果より
- ・ 営業日訂正
- ・ 「週間テスト」開始
- ・ 点をもぎ取る
- ・ 塾長のひとり言  
～「やるからには勝つ」～

### 営業日の訂正

先月配布いたしました『9月のスケジュール』に訂正があります。**9月29日(土)を休塾としていましたが、北辰テスト前日になりますので塾を開きます。**中学3年生は**午後12時から午後6時**まで次の日の北辰テストに備えて学習してください。

### 週間テスト開始

受験生は今月から月曜日・火曜日に五教科のテストを行っています。結果は毎週ランキングとして発表され、さらに毎週成績順で席替えも行います。

公立高校入試まで残り160日。常にライバルを意識して、毎週ライバルと自分の成績を確認して、競争心むき出して過ごしてください。

## 9月の北辰結果より

9月2日(日)に中学3年生の第4回北辰テストが行われました。受験生たちは本当に必死にこの夏を過ごしてくれました。私も「ついてこれない奴は辞めてもいい。」という覚悟で臨みましましたので、本当に大変だったと思います。

その夏期講習を経た今年の受験生たちが、夏前の成績からどのくらい成長したのかというデータをお知らせいたします。

(※3名結果未報告)

☆教室全体三科での偏差値の伸び...4.6UP (83%の生徒が伸びました。)

五科での偏差値の伸び...5.2UP (96%の生徒が伸びました。)

(昨年は三科で4.8、五科で4.7の伸びでした。)

### 伸び(偏差値)の分布人数

3科伸び	人数	5科伸び	人数
0未満	3	0未満	1
0以上2未満	2	0以上2未満	3
2以上4未満	5	2以上4未満	5
4以上6未満	4	4以上6未満	4
6以上8未満	2	6以上8未満	6
8以上10未満	2	8以上10未満	1
10以上	1	10以上	0

### 夏前、夏後の偏差値分布(人数)

偏差値	夏前	夏後
40未満	3	0
40以上45未満	4	4
45以上50未満	2	3
50以上55未満	3	3
55以上60未満	4	4
60以上65未満	2	4
65以上70未満	1	2
70以上	0	2

※今回初めて北辰テストを受験した生徒がいますので、合計人数が夏前、夏後で変わります。

受験生たち、ここからが本当に大変な時期が続きます。夏以上にどこまで自分自身を追い込めるか。妥協しないで努力を続けてください。

## 点をもぎ取る

夏明けの第四回北辰テストが終わり、現在9月末にある第五回北辰テストと10月の二学期中間テストに向けて学習しています。

今年を受験生は夏期講習中、たくさん質問をしてくれました。質問してくれた生徒には基本的には解き方や答えを教えますが、ときには答えを教えないこともあります。場合によっては答えを教えてしまうと逆効果になってしまうこともあるからです。

例えば、国語の文章問題で答えがわからないという質問に対して私は「とりあえず何か書きなさい。」と言うことにしています。国語の文章問題は答えが文章中に書いてあることがほとんどです。その答えを自力で見つけ出す訓練をしなければなりません。「ここが答えだよ。」と教えることはとても簡単です。しかし、答えを教えてしまうということは答えを自力で見つけ出す機会を一つ失うということになります。少しずつヒントを出しながら生徒が必死に答えを探しているのを見守らなければなりません。そうやって必死に答えを探しているうちに少しずつ答えを探しだすことができるようになっていきます。

この先の中3の国語では公立高校の過去問や北辰テストの過去問を解いていきますが、ここでも大事なことは「とりあえず何か書いて点をもぎとる。」ということです。よくわからない問題でも国語の文章問題はとりあえず何か書けば部分点をもらえる可能性があります。部分点の積み重ねで、もし10点取れば北辰テストの偏差値はおよそ5くらい変わってきます。公立高校入試だと10点というのは合格不合格が変わる可能性が十分にある点数です。そして何より点をもぎ取ろうという意識は他の教科にもいい影響を与えます。数学で言えば計算問題は意地でも落とさない。理科、社会、英語でも必ず何か書いて部分点をもぎとる。五教科合わせるとその点数は10点どころではないかもしれません。

10月の北辰テストでも良い結果を出すために点をもぎ取るという意識を持って日々学習していきましょう。(樋口)

## 塾長のひとり言～やるからには勝つ～

9月に入ると、毎年この話題を書いているような気がします。ランニングです。と書き始めましたが、ちょうど一年前の塾だよりの記事の書き出しと全く同じです。申し訳ございません...。と謝っておきながらランニングの話題です。

皆さんの夏期講習が終わりを迎える8月31日から、私の今年のランニングが本格化しました。その日からこの記事を書いている現在(9月18日)までの走行距離は約160km。Google mapで調べると山口学習塾から草津温泉まで歩いて行ける距離です。そう考えると結構な距離を走ったなぁと我ながら思います。(ランニングを趣味にしている人だとこのくらいの距離を走る人はたくさんいるようですが...)

こういう話をすると割と聞かれるのが「なんでそこまでして走るの?走るの好きなの?」ということ。実は私はランニングを趣味にしている人の中では、たぶんそこまで走るの好きな人ではないです。好きな人は1年に5個も10個も大会に出る人もいますけど、私が出るのは年に一回の川越マラソンだけ。本格的な練習も9月から11月後半の3か月程度。マラソンを見るのは大好きですけど、自分が走るのそんなに好きではないんです。

だから「何でそこまでして走るの?」という答えは、単純に川越マラソンに出るからには勝ちたい。ということなんですね。

「自分自身に勝つ」なんて格好いいこと言えればいいんですけどそこも違って、一緒に参加する兄に勝つということなんですね。私にとってはこういう記録が残ったり、順位が残ったりすることに関して記念参加は有り得ない。参加することに意義がある、というのはないんです。参加するからには勝つ、それだけなんですね。

そして戦う相手である兄は、まさにマラソンオタクで年間10本くらいレースに出て、先日も秩父の40km以上の山道を走る大会にも出たとか...。それに3か月で勝つには、当然それなりに追い込む必要がある訳です。

今年は長女の幼稚園の運動会もあるのですが、そちらもニコニコ笑って参加するつもりは一切ないです。何の競技があるかは未定ですが、競技が判明次第、長女と一緒に練習を開始することでしょう。

最後に。皆さんの受験は私にとってはさらに何倍も重要な勝負事です。「やるからには勝つ。」という私からのプレッシャーを存分に感じて入試まで過ごしてください。